



旭山冬の鳥まとめ2020-2021

2020年秋から2021年春先までに旭山で見られた冬の鳥の動きをまとめました。

ひとことでいうと、この冬は鳥の動きが例年とはだいぶ違いました。

■ミヤマホオジロ (右写真上、雄) …1月2日から22日まで園内で見られていましたが、1月の旭山での観察例は初めてでした。例年、11月と3月下旬から4月上旬に短期間見られており、今年もこれから来ることが期待されます。

■ベニヒワ+マヒワ=200羽 (右写真下、雄) …ベニヒワとマヒワは年初から数が増え、1月中旬には合わせて200羽以上が群れ飛ぶ様子が見られ、圧巻の眺めでした。

ベニヒワはその後数は少しずつ減りましたが、2月下旬に入っても40羽以上が残っていました。例年3月下旬には北に渡っていきなくなります。

マヒワは2月に入ると10羽以下になりましたが、3月中旬に再び30羽以上に増えました。例年5月中旬まで見られます。

■ハギマシコ…旭山では過去に何度かしか記録がないですが、今年は1月に数羽で現れ、以降単独だったり数羽の群れだったりとは何度か見られました。

■亜種アカウソ (下写真、雄) …

今年は1月から数羽が滞在し2月中旬以降観察しやすくなりました。腹全体が赤茶色の雄もいます。今年は腹に赤みがない亜種ウソの方が少ないです。



■亜種ベニバラウソ…2021年3月13日野鳥観察会の朝、旭山で初めて観察されました。しかしその日の午後以降記録がなく、一時通過だった可能性が高そうです。

■シメ…数羽の群れが滞在していますが、シメにしては警戒心が薄い雌が1羽いて15mくらいで撮影する機会に多く恵まれました。例年5月下旬まで見られ昨年は4月に多かったですが、今年はどうでしょうか。

■アトリ…2月以降1、2羽が散発的に観察されていますが、毎年旭山ではそんな感じで5月まで見られています。

■イスカ…時折見られていますが、旭山は低い位置に松ぼっくりがなる木がなく、飛ぶ姿を見るばかりです。5月上旬まで見られる年もあります。

■ヒレンジャク…2月上旬まで滞在し多い時は50羽以上見られました。

■キレンジャク…ヒレンジャクに数羽混じっていましたが、1月下旬から半月ほど数羽の群れがいました。

なお、ヒレンジャク、キレンジャクとも4月にまた見られる年もあります。

■ツグミ…2月上旬に50羽がいましたが漸減し今は数羽のみです。例年4月いっぱいまで見られます。

■ハチジョウツグミ…冬の間ずっと滞在していましたが旭山では初めてのことでした。

■キクイタダキ…この冬は多くもなく少なくもなく観察されていました。例年4月上旬まで見られますが、昨年は4月中旬に30羽程度が来て半月ほど滞在していました。今年はそんなことはあるのでしょうか？

■キバシリ…1月までは西側エリアでときどき見られていましたが、2月中旬以降は観察頻度が極端に少なくなりました。2月下旬には囀りも聞かれました。例年4月に入るとほぼ見られなくなります。

■ミソサザイ…1月まではつり橋付近や遊具広場の森などよく見られる場所がありましたが、以降ときどき見られるだけになっています。例年4月いっぱいくらいまで見る機会があります。

■コガラ…カラムツ林周辺で冬の間ときどき見られていましたがハシブトガラとそっくりで分かりにくかったです。昨年は4月に木の穴をのぞいて営巣準備をしていたものの失敗、今年はそんな動きは見られるのでしょうか。

■カケス(亜種ミヤマカケス) (右写真) …18-19、19-20とふた冬続けてほぼ見られませんでした。20-21この冬は10月以降数羽が園内で頻繁に観察され賑やかに鳴いています。例年4月中旬までには見られなくなります。



旭山野鳥メモ②④ ホオジロ

ホオジロ Meadow Bunting *Poecile montanus* スズメ目ホオジロ科

本州以南で留鳥、北海道では夏鳥だが小雪地域では越冬も。

雄は顔が黒くその名の通り頬が白い。雌は顔が濃茶色。

ホオジロは旭山に春を告げる鳥。3月下旬に姿を現し、たいてい最初は展望台の松のてっぺんで囀りしている。噴水広場の周りの木のこともある。時には外灯、とにかくてっぺんで囀る。

農耕地や草原、里山の鳥で山林にはいない(林縁にはいる)。旭山でも見られるのは展望台から噴水広場辺りの開けた場所や道路沿いで森の家の周りではあまり見られない。しかし高速道や国道の広い法面などちょっとした開地があれば生息、意外な場所で見られることも。

ホオジロの「聞きなし」(鳴き声を人間の言葉に置き換えて表現すること)は昔から「一筆啓上仕り候(いっぴつけいじょうつかまつりそうろう)」がよく言われてきた。「源平躑躅白躑躅(げんぺいつつじしろつつじ)」もある。近年では「札幌ラーメン味噌ラーメン」なるものもあるが、さて、どれに聞こえるだろうか。いずれにせよ、早口で短い言葉を明るく話すような囀りは分かりやすく、聞く機会も多く、広く親しまれている。

4月に展望台で「一筆啓上」するホオジロを眺め声を聞くと、春が確実にやって来たことを感じる。



3～4月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧ください、森の家までおたずねください。

★シマエナガ＝2月中旬から群れで行動しなくなり、3月に入りペアで巣作りを始めました。写真は落ちたヒヨドリ羽を拾い集めているところです。

3月4月もしばしば見られますが、行動が速く撮影は難しくなります。

★クマゲラ＝毎年春先は園内での観察機会が多くなります。

★ヤマゲラ＝こちらも春先は観察機会が多く地面にいます。

★キジバト＝3月下旬に南から渡って来て見られるようになります。

★カワラヒワ＝旭山では3月下旬から囀りが聞かれるようになります。



旭山記念公園見どころマップ2021年3～4月

●成虫越冬するクジャクチョウ 4月上旬



●ふきのとう
アキタブキの花
園内至る所

●モズ
3月下旬

●キセキレイ
4月上旬

●キクイタダキ坂周辺
キクイタダキ囀り
3～4月

●カワラヒワ
この辺りで囀り
3月下旬

●ホオジロ囀り
3月下旬

●ナニワズ黄色い花 3月末

●ヤマシギ
地面から
飛び上がる
4月上旬

●エゾリス
この時期まだ
耳毛が長い

●根あけ(根あき)
樹木の輻射熱で
木の周りから先に
雪が解け始める

●モズ
3月下旬

●キセキレイ
4月上旬

※第2駐車場は雪の解け具合をみて開場予定です(4月中、時期未定)



公式サイト

「アカゲラ通信」 第89号 2021(令和3)年3月19日発行

(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311(金・土・日・祝日 10時～16時) FAX 011-200-0351